

苦しい状況を受け止め、耐える力

学校がスタートし、少しずつ日常が戻りつつあります。皆さん一人一人の我慢と協力のおかげで、大変な時期を一つ乗り越えることができたのではないのでしょうか。ですがこれからも、予断を許さない普段と違った生活が続くこととなります。先が見えない不安や我慢の続く毎日に、心や体がついていけないという人もいるかもしれませんね。

“ネガティブ・ケイパビリティ”という言葉を知っていますか？作家であり精神科医でもある帯木蓬生(ははきぎ ほうせい)さんが著書*1の中で紹介した言葉です。「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようのない事態に耐える力」のことを言います。

コロナウイルスのことに関わらず、私たちは、先が見えない・すぐには解決できない課題をたくさん抱えています。自分の思い通りに進まないこともたくさんあります。そんな時でも、その状況を寛容に受け止め、辛抱強く耐える力が必要だということなのです。受け止め、耐えながら、また前向きに動き始めるタイミングをゆっくりと待つことも大切なのかもしれませんね。

*1 帯木蓬生(2017)『ネガティブ・ケイパビリティ 答えの出ない事態に耐える力』朝日選書

■6月の来校予定(状況によって変更することがあります)

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
		14:00~17:00		10:00~17:00
8	9	10	11	12
		9:30~12:30		10:00~17:00
15	16	17	18	19
		9:30~12:30		10:00~17:00
22	23	24	25	26
	9:30~12:30			10:00~17:00
29	30	7月 1	2	3



■ご利用方法

担任、コーディネーターの先生(小松先生《中等》・吉田先生・岩佐先生・大波多先生《高校》)、養護教諭の先生を通して、お申し込みください。

*お電話での相談もお受けできます。ぜひ一度学校にお問い合わせください。